

令和3年度

職業訓練指導員免許資格取得講習会受講案内

1 目 的

職業訓練指導員の講習会は、職業訓練指導員の免許を取得しようとする者に対し、指導員に必要な指導方法等に関する能力を付与するため、昭和45年労働省告示第39号による講習として実施するものです。

2 実施期日

令和3年11月25日（木）から11月26日（金）及び11月29日（月）から12月3日（金）までの7日間です。

3 実施場所

福島県ものづくり支援センター
須賀川市並木町 153-1

4 講習科目及び時間

下表のとおり行います。（合計48時間）

講 習 科 目	時間数	講 習 科 目	時間数
職 業 訓 練 原 理	4	生 活 指 導	6
教 科 指 導 方 法	16	職業能力開発関係法規	4
安 全 衛 生	3	事 例 研 究	6
訓 練 生 の 心 理	7	確 認 テ ス ト	2

5 受講資格

別表を参照してください。

6 受講料

15,000円（テキスト代含む）

7 申込み方法

必要書類に受講料15,000円を添えて、福島県職業能力開発協会へ現金書留で郵送してください。

(1) 郵送先 福島県職業能力開発協会

〒960-8043 福島市中町 8-2 福島県自治会館 5 階 TEL024-525-8681

(2) 受付期間

令和3年10月18日（月）から10月29日（金）（土曜日及び日祝日を除く）まで。
郵送の場合は10月29日(金)の消印有効です。

◎ 申請書受理後は、本協会の都合による開催中止以外は、受講料はお返しできません。

(3) 申込みに必要な書類

(ア) 職業訓練指導員免許資格取得講習会受講申請書（写真添付）

(イ) 履歴書

(ウ) 実務経験証明書

(エ) 1級・単一等級技能検定に合格した方

※ 技能検定合格証書の写し

(オ) 学校教育法による学校を卒業した方（大学・高校で関連した学部・学科を修了）

※ 卒業証書の写しまたは卒業証明書及び科目履修証明書または成績証明書

(カ) 職業能力開発促進法による訓練を修了した方

※ 修了証書の写し若しくは修了証明書

(キ) 上記(カ)の修了者で技能照査に合格した方

※ 技能照査合格証書の写し

8 受講者の決定

受講資格の有無を審査し、事前に本人あて通知します。

なお、開講一週間前までに通知が届かない場合は、下記問合せ先まで連絡願います。

9 修了基準

講習を無欠席で受講し、最終日の確認テストで基準以上の成績を収めた方に対して修了証書を交付します。（この修了証書は、免許を受ける際の証明書となります。）

10 その他

新型コロナウイルスの感染予防に配慮して開催いたします。

講習会参加者が著しく少ない場合、又は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により開催を中止する場合があります。

お 問 い 合 わ せ 先

福島県職業能力開発協会

〒960-8043 福島市中町 8-2 福島県自治会館 5階

TEL024-525-8681 ・ FAX024-523-5131

職業訓練指導員免許資格取得講習会受講資格一覧表

(次のいずれかに該当する方)

番号	受 講 資 格	実務経験年数(修了・卒業後)
1	技能検定合格者(1級・単一等級) (但し、単一等級の電子回路接続及びバルコニー施工は除く)	0
2	大学卒業者(免許職種に係る学科を修了した者)	2
3	短期大学又は高等専門学校卒業者(免許職種に係る学科を修了した者)	4
4	専門課程の養成訓練修了者(技能照査合格者)	3
5	専門課程の養成訓練(A型)修了者	4
6	普通課程の養成訓練修了者(技能照査合格者)	6
7	普通課程の養成訓練(A型)修了者	7
8	職業転換課程の能力再開発訓練(A型)修了者	10
9	専修訓練課程の養成訓練修了者	10
10	外国の大学卒業者(免許職種に係る学科を修了した者)	2
11	旧法の認定職業訓練(3年)又は労働基準法による技能者養成修了者	7
12	高等学校卒業者(免許職種に係る学科を修了した者)	7
13	旧法の職業訓練(2年3,600時間)修了者	8
14	旧法の職業訓練(1年1,800時間)修了者	10
15	失業保険法(昭和22年)の職業訓練(1年1,824時間)修了者	10
16	昭和48年改正省令施行の際、現に職業訓練を担当していた者	0
17	特別高等訓練課程の養成訓練修了者(技能照査合格者)	3
18	特別高等訓練課程の養成訓練修了者	4
19	高等訓練課程の養成訓練修了者(技能照査合格者)	6
20	高等訓練課程の養成訓練修了者(昭和53年改正規則前の訓練)修了者	7
21	専修訓練課程の養成訓練修了者(昭和53年改正規則前の訓練)修了者	10
22	厚生労働省職業能力開発局長が認める者(指導員の確保が困難な場合)	15

職業訓練指導員免許資格取得講習会

受 講 申 請 書

写 真

6ヶ月以内撮
影（正面・脱帽
上半身像）

職業訓練指導員免許資格取得講習会を受講したいので、受講料（15,000円）を添えて
申請します。

令和 年 月 日

福島県職業能力開発協会長 様

氏 名 _____ 印

1 免許職種 _____ 科

2 受講資格（イ・ロ・ハ及び二の該当する記号を○で囲んでください。）

イ 1級・単一等級の技能検定に合格した者

職種名 _____（ _____ 作業）

合格年月日 昭・平・令 _____ 年 _____ 月 _____ 日・合格証書番号 第 _____ 号

ロ 職業訓練を修了した者 修了後の実務経験年数 _____ 年 _____ ヶ月

ハ 学校教育法による学校を卒業した者

卒業後の実務経験年数 _____ 年 _____ ヶ月

二 実務経験15年以上の者 実務経験年数 _____ 年 _____ ヶ月

3 証 明

上記2の受講資格で二を囲んだ方は、必ず訓練施設の証明を受けてください。

この者は、職業訓練指導員免許取得後、職業能力開発促進法に基づく当訓練
施設の指導員となることを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

訓練施設名 _____

代 表 者 名 _____ 印

履 歴 書

フリガナ		生年月日	昭和 年 月 日生	
氏 名	印		平成 (歳)	
フリガナ				
現住所	〒			
	(TEL) (携帯)			
学 歴	学校名 (学科・学部)	所在地	在学期間	卒業・中退
			年 月～ 年 月 (年 月)	
			年 月～ 年 月 (年 月)	
訓 練 歴	訓練施設名 (科名)	所在地	訓練期間	修了・中退
			年 月～ 年 月 (年 月)	
			年 月～ 年 月 (年 月)	
職 歴	事業所名	所在地	在職期間	職務内容
			年 月～ 年 月 (年 月)	
			年 月～ 年 月 (年 月)	
			年 月～ 年 月 (年 月)	
			年 月～ 年 月 (年 月)	
			年 月～ 年 月 (年 月)	

実務経験証明書

フリガナ 氏 名	印		生年月日	昭和 年 月 日生 平成 (歳)
現住所	〒 (TEL)			
現在の 事業所 名及び 所在地	事業所名			
	所在地	〒 (TEL)		
実務経験の期間及び内容				
事業所名	在職期間		職務内容(具体的に)	
	年 月～ 年 月 (年 ケ月)			
	年 月～ 年 月 (年 ケ月)			
	年 月～ 年 月 (年 ケ月)			
	年 月～ 年 月 (年 ケ月)			
通算期間	年 ケ月			
免許職種 _____ 科 上記のとおり相違ないことを証明します。 令和 年 月 日 団体・事業所 の所在地 _____ 団体・事業所名 _____ 代表者名 _____ 印				

※ 本証明書は実務経験年数の事実を証明するものなので、証明する方は事実を確認のうえ証明してください。(別紙・別表第11参照)

記入上の注意

- 1 記入はすべて万年筆、ボールペン等を用い、文字は楷書で数字は算用数字でていねいに書いてください。特に氏名及び住所は、略字や俗字を用いないで正確に記入してください。
- 2 免許職種の欄には、取得を希望する免許職種を記入してください。
- 3 受講資格は、イ・ロ・ハ及びニの該当する記号を○で囲んでください。
 - ① イを○で囲んだ方は、1級・単一等級技能検定合格証書の検定職種、合格証書番号、合格年月日を記入してください。
 - ② ロ・ハ及びニを○で囲んだ方は、実務経験証明書(免許職種に係る実務経験年数)を記入してください。
 - ③ ニを○で囲んだ方は、必ず訓練施設の証明を受けてください。
- 4 学歴の欄には、最終学歴を記入してください。なお、定時制、通信制の場合は(定)・(通)と記入してください。(中退も必ず記入すること。その場合、最終学歴にはならないので、その前の学歴も記入すること。)
- 5 訓練歴の欄には、認定・公共等の訓練校を修了した場合に記入してください。
- 6 職歴の欄及び実務経験証明書には、受講資格の基礎となる経歴を順に記入してください。また、職務内容の欄には、従事した作業を具体的に記入してください。
- 7 実務経験証明書には、免許職種に係る実務経験年数を証明できる方(雇用主または同業組合長とするが、これによることができない場合(雇用主等が身内の場合も含む)は同僚その他第三者)の証明を必ず受けてください。
なお、1級・単一等級技能検定合格者の方は必要ありません。
- 8 添付書類
 - ① 1級・単一等級技能検定に合格した方(受講資格イ)
※ 技能検定合格証書の写し
 - ② 職業能力開発促進法による職業訓練を修了した方(受講資格ロ)
※ 修了証書の写し若しくは修了証明書
 - ③ 学校教育法による大学・高校を卒業した方(受講資格ハ)
※ 卒業証明書の写し若しくは卒業証明書及び科目履修証明書若しくは成績証明書
 - ④ 上記②の修了者で技能照査に合格した方
※ 技能照査合格証書の写し

別紙 別表第十一（抜粋）

免許職種の実技試験の科目及び学科試験の科目のうち
関連学科を修めていることが必要です。

免許職種	訓練科	実技試験の科目	学科試験の科目
建築科	建築施工系木造建築科 建築施工系建築設計科 建築科	一 木造建築 二 建築製図	一 指導方法 二 関連学科 1 系基礎学科 ① 建築工科学（構造力学 建築構造 建築施工 測量 建築製図 関係法規） ② 安全衛生（安全管理 衛生管理） 2 専攻学科 ① 建築設計（建築設計 設備設計 建築計画） ② 施工法（建築施工法 建築工事 規則く術 木材工作法 仕様及び 積算） ③ 材料（建築用材料）
左官・タイル科	建築仕上系左官・タイル 施工科	一 左官施工 二 タイル施工	一 指導方法 二 関連学科 1 系基礎学科 ① 建築工科学（建築構造 建築設備 建築製図 建築仕上法 関係法規） ② 安全衛生（安全管理 衛生管理） 2 専攻学科 ① 施工法（造型 左官施工法 仕 様及び積算） ② 材料（左官施工用材料 タイル 施工用材料）
塗装科	塗装系金属塗装科 塗装系木工塗装科 塗装系建築塗装科	一 金属製品塗装 二 木工製品塗装 三 建築物塗装	一 指導方法 二 関連学科 1 系基礎学科 ① デザイン（文字 構成 色彩 模様） ② 塗装一般（塗装 調色 塗装用 設備及び機器関係法規） ③ 安全衛生（安全管理 衛生管理） 2 専攻学科 塗装法（金属製品塗装法 木工製 品塗装法 建築物塗装法 試験法 材料 仕様及び積算）
溶接科	金属加工系溶接科	一 ガ溶接 二 ガス切断	一 指導方法 二 関連学科 1 系基礎学科 ① 材料（材料力学 金属材料） ② 製図（読図法） ③ 溶接法（ガス溶接法 ガス切断法 アルゴン溶接法 電気抵抗溶接法 炭酸ガス溶接法 熱処理） ④ 測定法（測定用具及び機器 測定 法） ⑤ 安全衛生（安全管理 衛生管理） 2 専攻学科 ① 特殊溶接法（アルゴンアーク溶接 プラズマ溶接法 レーザ加工 法） ② 試験検査法（試験検査機器 破壊 検査 非破壊検査 関係法規）

免許職種	訓練科	実技試験の科目	学科試験の科目
配管科	設備施工系配管科 配管科	一 配管施工図作成 二 配管施工	一 指導方法 二 関連学科 1 系基礎学科 ① 建築工學科 (建築設備 配管設備) ② 建築構造工學科 (建築施工) 2 専攻学科 ① 配管設備 (上下水道設備 ガス設備 冷暖房設備 空気調節設備) ② 配管製図 (読図法 配管図) ③ 施工法 (管工作法 配管施工 試験測定法 配管用材料仕様及び積算)
理容科	理容・美容系理容科	理容	一 指導方法 二 関連学科 1 系基礎学科 ① 公衆衛生 (細菌学 疫学 伝染病 環境衛生) ② 生理解剖学 (人体 皮膚及び毛髪 疾患及び衛生) ③ 香粧品化学 (香粧品 薬品) ④ 安全衛生 (安全管理 衛生管理) 2 専攻学科 理容理論 (理容方法 理容器具 関係法規)
美容科	理容・美容系美容科	美容	一 指導方法 二 関連学科 1 系基礎学科 2 理容科の系基礎学科の①から④までに掲げる科目 3 専攻学科 美容理論 (美容方法 美容器具 関係法規)

※その他の科目については、当協会までお問い合わせください。